

金武町議会報



きんこく

第138号

発行：平成26年9月8日

均 霈



○懐かしい風景シリーズ

屋嘉尋常小学校

主な内容

一般質問.....	2～15P
大城一之 / 仲間昌信 / 大城政光 / 仲間政治 / 崎浜秀幸 安富信武 / 外間慎仁 / 松田義政 / 池原政文 / 吉野 潤 伊芸 孝 / 与儀実栄 / 伊芸政男 / 嘉数義光	
平成26年第2回定例会議決結果	16P
平成26年第3回臨時会議決結果	17P
その他・傍聴案内	18P

金武町公式ホームページ <http://www.town.kin.okinawa.jp>

平成26年第2回 定例会

一般質問

(※質問順に掲載し、質問・答弁は要約)



大城一之 議員

子育て支援

給食費無料化の課題は

町長 第1子、第2子に係る給食費の財政支出が課題

大城議員 認可外保育園の認可化について伺う。

仲間一町長 平成26年度には、町内の認可外保育園4施設のうち1施設を認可し、平成27年4月1日の認可保育園開設を行い、引き続き

認可化等に取り組む。

大城議員 給食費無料化の課題について伺う。

町長 学校給食費の無料化については、現在無料としている第3子以降を除く第1子、第2子に係る給食費の財政支出が課題となる。今後は、財源の確保について検討しながら取り組む。

大城議員 財源を確保するのは大変難しい状況があると思うが。

町長 一般財源の中で予算計上しているが、全体で6600万円ほどかかっている。給食費の助成や生活保護世帯等への免除、兄弟3人目以降無料化などをしており、残りの部分3300万円の資金が調整できる

と完全無料化になる。その部分については、財政と調整しており、でき次第実施に向けて取り組む。

教育・人材育成

少人数学級の課題は

町長 学級増に伴う教員の配置や財源の確保

大城議員 少人数学級を構成するにあたり具体案と課題について伺う。

町長 少人数学級を導入した場合、学級増に伴う教員の配置や財源の確保が課題となる。今後は、教員の配置や財源の確保など必要な条件を整備し、実施に向けて取り組む。

大城議員 英語教育課程特別校の指定の詳細について伺う。

町長 英語教育課程特別校については、沖縄県教育委員会を經由して文部科学

省が指定する。英語教育課程特別校に指定された場合は、地域の特色を活かした特別の教育課程を編成して教育を実施することができ、児童生徒の英語力の向上が見込まれる。

大城議員 社会教育での人材育成については明記されていないが、どうお考えか。

新里朝治社会教育課長 子ども会やPTA、各種補助団体があるが、そこ社会教育課が一緒になり人材育成に取り組んでいるところであり、今後も互いに連携しながら育成について取り組む。

若者に雇用の場を

金武町版ハローワーク

町長 就業斡旋や講座等、キャリア教育を一体的に実施する機関として設置する

大城議員 金武町雇用対策

事業検討委員会に期待する検討内容について伺う。

町長 金武町雇用対策事業検討委員会については、町民の雇用の拡大と人材育成にむけ、雇用創出に関する調査、雇用促進のための技能、資格取得の調査、計画策定、組織・体制に関する調査を行う委員会として設置する。

大城議員 金武町版ハローワークの機能、技能講座について伺う。

町長 町民の就業斡旋、技能、資格取得に向けた講座等の実施、子ども達へのキャリア教育等を一体的に実施する機関として設置を図る。技能講座については、町民の就業ニーズをはじめ、ギンバル訓練場跡地に進出する企業に即した技能や資格を取得する講座を行うが、具体的な講座の内容については、金武町雇用対策事業検討委員会で検討する。



仲間昌信 議員

町長の所信表明

町立保育所の民営化は

町長 町立保育所の2カ所を見込んでいます

仲間議員 認可外保育所の認可化について説明願う。

仲間一町長 認可外保育園の認可法人への移行については、平成26年度には、町内の認可外保育施設4施設のうち、1施設を認可し、

平成27年4月1日の認可保育園開設を行い、引き続き認可化に取り組む。

仲間議員 町立保育所の民営化について伺う。

町長 町立保育所の民営化については、国の基準を満たした法人運営であり、町立保育所の2カ所を見込んでいる。民営化のメリットとして特色のある幼児教育や保育環境の整備が図られるとともに、延長保育や休日保育及び病後児保育などの実施、施設の建て替えに国と県、町からの補助金がある。乳幼児の保育における質の向上が図られると考えている。

仲間議員 給食費の無料化について伺う。

町長 現在、無料としている第3子以降を除く第1子、第2子に係る給食費の財政支出が必要となり、今後は財源の確保について検討しながら取り組む。

仲間議員 英語教育課程特例校の指定について伺う。

町長 英語教育課程特例校については、沖縄県教育委員会を経由し、文部科学省が指定する。英語教育課

程特例校に指定された場合は、地域の特色を生かした特別の教育課程を編成し、教育を実施することができ、児童生徒の英語力の向上が見込まれる。

仲間議員 當山記念館の活用に関する検討委員会について伺う。

町長 當山記念館の活用については、検討委員会を設置し、歴史的経緯や建造物としての価値等を踏まえ、効果的な活用方法を検討する。

仲間議員 金武町雇用対策事業検討委員会について伺う。

町長 町民の雇用の拡大と、人材育成に向けて雇用の創出に関する調査、雇用の促進のための技能、資格の取得の調査、計画策定、組織体制に関する調査を行う委員会として設置する。

ギンバル訓練場

跡地開発事業

北部メディカルクリニックの進捗状況は

町長 現在開院していない

仲間議員 北部メディカルクリニックの営業開始の進捗状況は。

町長 当初4月の開院を目指していた。しかし、医療法人ほくと会の業務及び会計の改善について県の指導が行われており、定款変更の届け出ができないことから、開設に向けた手続きが進まず、現在開院していない。

仲間議員 どこに原因があるか。

森山朝男基地跡地推進課長

現在、ほくと会における業務の改善及び会計の改善について指導命令が出ている。その中で県のほうが指

導の中身をチェックしており、それについてほくと会から随時資料が出ているが、県のほうでその審査に時間を要し、オープンまでの手続きにこぎつけない状況である。

仲間議員 デイジャヤ社とヒルトンホテルが進める、ホテル建設などのプロジェクトの開発許可は得られているか。

町長 ホテル建設に伴う開発許可については、森林法による保安林解除や林地開発の許可を得ている。現在、県の都市計画法による開発許可待ちです。

仲間議員 ビーチ、海岸整備事業はどのように進んでいるか。

町長 海岸整備については、沖縄県及び沖縄防衛局と事業採択に向けて調整している状況です。



大城 政光 議員

ギンバル開発

稼働していない施設もあるが、雇用計画に影響は

町長 当初計画に基づき、町民優先雇用の促進に努める

大城議員 地域医療施設（メディカルクリニック）、海洋療法リハビリセンター、ヘルスケアセンター、フィッティングセンター、施設は完成し、稼働していない施設もある。今後、ホテルも完成し、総合的に運営していくときに問題はないか。当初雇用計画に影響はないか何う。

仲間一町長 北部メディカ

ルクリニックは、当初4月開院を目指していたが、医療法人ほくと会の業務及び会計の改善について県の指導が行われており、定款変更の届け出ができないことから、開設に向けた手続きが進まず、現在開院していない。リハビリ関係の3施設については、予定どおり開設しており、今後、整備されるホテル等と地域医療施設、ヘルスケアセンター、フィッティングセンター、海洋療法児童リハビリセンター、4施設の事業連携を図り、雇用についても、当初計画に基づいて町民優先雇用の促進に努める。

大城議員 地域医療施設には性能のいい機械が入っており、4月1日から稼働できないという事は、町民にとって大きな損失です。すでに3ヵ月ぐらいたつが、なぜ前に進んでないのか。

森山朝男基地跡地推進課長

ほくと会の業務について県のほうから指導があり、業務の自身、例えば理事会の運営、会計のあり方とかが指摘され、ほくと会のほうが資料を提出し、過去の財務処理方法等について県が審査するのに時間を要し現在に至っている。



北部メディカルクリニック

大城議員 どういう形で解決していくのか。

伊芸達博副町長 医療法の権限は知事であり、業務改善について県知事からほくと会にあっており、この回答がほくと会から県にいつている。県がその審査をし、その結果がどう出るか、そ

の辺を把握した中で町の判断を考えなければならぬ。現段階でそれがクリアされていないので、定款変更の手続きが受理されず、開院が遅れている。

子育て支援

認可保育園の分園は 町長 検討していない

大城議員 潜在的待機児童対策、認可保育園の分園は考えているか。

町長 潜在的待機児童については、公立や認可保育園への入所を希望していただために待機児童として数えられない乳幼児であり、実態把握はできていない。町としては、全ての待機児童解消のため認可外保育施設

設の認可化等及び公立保育所の民営化に取り組む。認可保育園の分園については、現在、検討していない。

大城議員 2015年には株式会社が入社しやすくなるが、考え方を伺う。

町長 2015年4月1日から、子ども・子育て支援法により保育が行われる。町においては、株式会社等の法人も含めた保育所の認定について検討する。

大城議員 なぜ、認可外保育園4カ所をいっぺんに認可保育園に移行しないで、1カ所なのか何う。

町長 今年、認可外1カ所を先行して進めていき、同時に保育所の民営化もこの1年、全力で取り組んでいきたいという事があり、来年以降残り3カ所について認可化に取り組む。この3カ所を同時に進行できるように環境の整備も年内にかけて行う。



ギンバル跡地利用の現状

仲間政治 議員

北部メディカルクリニックについてどう取り組むのか

町長 協定書に基づく措置を考えなければいけない時期にきている

仲間議員 北部メディカルクリニックの開院が遅れているが、その原因は何か。町は一貫してほくと会が健全運営であると擁護してきたが、今日に至っても変わりはないか。

仲間一町長 医療法人ほくと会の業務及び会計の改善について、県の指導が行われており、定款変更の届け出ができないことから、開

設に向けた手続きが進まず、現在開院していない。今日まで開院していない状況は、町として大変残念であり、遺憾に思っている。

仲間議員 町としてどう取り組むか。

町長 4月に開院ということは、ほくと会と町の約束事項であり、協定書を交わしている。4月30日には、ほくと会に開院できない理由を文書で請求し、5月中旬に回答をもらったが、オープンには明らかにされていない。この協定書の7条にある不測の事態が発生していると考えざるを得ない。協定書に基づく措置を考えなければいけない時期にきている。

仲間議員 準備期間として予算を計上したが、執行されたか。

町長 準備期間として計上した予算については、行政財産の使用を許可するま

での平成25年12月分の一ヶ月間の光熱水費、警備に係る費用であり、執行済みである。

仲間議員 ホテル建設に伴う開発許可、保安林解除、重要港湾に指定されている岩礁破碎の許可、漁業権の問題及び米軍の演習の専管水域から除外されているか何う。

町長 ホテル建設に伴う開発許可については、森林法による保安林解除や林地開発の許可を得ている。現在、県の都市計画法による開発許可待ちである。海岸整備事業については、沖縄県及び沖縄防衛局と事業採択に向けて調整をしている状況であり、岩礁破碎等についても整備方針の中で対応していきたい。また、米軍への提供水域については指定されていない。

仲間議員 工期の遅滞は即違約金の請求につながると

思うが、町の認識はどうなっているか何う。

町長 工期の遅滞による違約金については、ディジャヤ社とホテル運営者による契約内容によるものであり、町等は関係していない。

當山記念館問題

早急に取り組むべき

と思うが

町長 検討委員会を設置し、効果的な活用方法を検討する

仲間議員 先の町長選挙において、記念館の存続、活用を宜野座保さん、当選された町長も政策として掲げており、町の総意と認識し

早急に取り組むべきと思う。町長の所信表明にもありましたが、再度決意のほどを何う。

町長 教育長時代に、教育委員会の意見として建築当初の建物を現地保存し、

當山久三銅像など、雄飛の森との一体的な活用により、町民の共同学習の場や海外雄飛の里、金武町を内外に発信する場として活用を要望する旨を投じ儀武町長へ意見書として提出した。また、選挙公約でも當山記念館の保存活用を訴え、5000人余りの保存を求める署名の提出も重く受け止めているところです。當山記念館の活用については、検討委員会を設置し、歴史的経緯や建造物としての価値等を踏まえ、効果的な活用方法を検討する。



議員 幸秀 浜崎

町長所信表明

関連企業と雇用について
協議をしてきたか

町長 協定書の締結と情報交換を行ってきた

議員 子育て支援について、待機児童解消に向けて具体的な計画があるか伺う。民営化を考えている保育所は何か所か、全ての認可外保育園を認可に取り組むつもりでいるのか。

町長 公立保育所の民営化については、2カ所の保育所を見込んでおり、認可外保育所の認可法人への移行については、平成26

年度に町内の認可外保育園4施設のうち、1施設を認可し、平成27年4月1日の認可保育園開設を行い、引き続き認可化に取り組む。

議員 若者の雇用の場について、前町政ではギンバル開発に伴い800から900人の雇用が見込まれていると公表されていた。雇用について、ギンバル跡地利用に関連する企業やホテルとの協議をしてきたか。協議内容はこういったものであるか伺う。

町長 ギンバル訓練場跡地に進出した企業と雇用に関する協議については、町民の優先雇用と人材育成を図る旨を含めた協定書等の締結と合わせて、職種や採用人数等の情報交換を行ってきた。

議員 基地問題について、基地から派生する事件事故に対し関係機関と連携し、対策を講じるとしてい

るが、関係機関とはどのようなものを行っているのか。

議員 関係機関については、沖縄県、沖縄県警察本部、沖縄防衛局、外務省沖縄事務所、在沖米軍、在沖米国総領事館等である。

地域医療施設

ほくと会以外の

医療機関へ変更しては

町長 開院の見通しが立たない場合は、協定書に基づき対応

議員 4月1日開設予定だった北部メディカルクリニックがいまだに開院していない件について、開院許可の手続きが進んでいないのはなぜか。このまま開院できない場合、補助金の返還等が心配されるが問題はないか。開院の見通しが立たないのであれば、ほくと会以外の医療機関へ変更してはどうか。

町長 北部メディカルク

リニックについては、当初4月の開院を目指していたが、医療法人ほくと会の業務及び会計の改善について県の指導が行われており、定款変更の届け出ができないことから、開設に向けた手続きが進まず、現在、開院していない。今日までに開院していない状況は、町として大変残念で遺憾に思っており、補助事業の所期の目的が達成できるよう早期開院に向けて全力で取り組む。開院の見通しが立たない場合は、協定書に基づき対応していきたい。

議員 契約上問題はな

森山朝男基地跡地推進課長

協定書の中で、開業の時期というのがあり、平成26年4月に開業することがうたわれている。4月にオープンされていないことは、協定書に沿っていない、抵触していると捉えている。

議員 補助金の返還など、問題はおこらないか。

伊去達博副町長 補助金適

正化法に抵触することがあれば、補助金返還の可能性はある。この事業については、目的に基づき実施されている。しかし、開院していないことが、ネックになる。関係省庁においては、1年以内に開院できるのであれば抵触しないだろうという見解である。

議員 当初の計画段階

から、慎重な計画がなされるべきと考える。町の計画将来を見据えながら計画してほしいが。

町長 町づくりのいろ

ろなプロジェクトをスタートし、今回の件でも、町民を含めたくさんの方々に迷惑をかけている。そういった部分については慎重かつ、町民と情報を共有しながら行政が進んでいくような形をとっていきたい。



安 富 信 武 議 員

学力向上対策

少人数学級を

編成するとあるが

町 長 教員の配置や財源の確保が課題となる

安富議員 所信表明の中で

「きめ細かな教育を実現し、学力向上対策を推進するため、1クラス25人から35人の少人数学級を編成するとともに、学習支援員や非常勤講師を配置してまいります。」とあるが、具体例をあげて説明を求めます。

仲間一町長 少人数学級を

導入した場合、学級増に伴う教員の配置や財源の確保

金武町民俗資料館

検討するとあるが

町 長 建設に向けて具体的に

町長 建設に向けて具体的に

安富議員 「金武町民俗資料館の建設に向けて、移民

や民俗、歴史、自然、産業

等多岐にわたる総合的な学

習施設として整備できるよ

う検討してまいります。」

とあるが、どのように、ど

こに整備するか説明を求め

る。

町 長 本町では資料館構

想を、「地域文化の振興」

における文化財の保全・活

用、移民や民俗を基本的な

後は、建設に向けて具体的に

当山記念館の活用

検討委員会の

立ち上げとあるが

町 長 7月中の発足を予定

安富議員 「当山記念館に

ついては、当山記念館の活

用に関する検討委員会を立

ち上げ、効果的な活用方法

を検討してまいります。」

とあるが、どのように立ち

上げるのか具体例を挙げて

説明を求めます。

町 長 当山記念館の活用

に関する検討委員会は、當

山記念館の保存、活用に関

続させる会があり、署名を

集めた際を中心になった役

員が15人ほどいます。その

中から検討委員会に1人で

も加入させることはできる

のか。

町 長 案の段階ですが、

1人ではなく、もっと入れ

ていきたいと思っています。

その他の質問

ギンバル訓練場跡地
利用に関する金武町
雇用対策事業



外間 慎仁 議員

子育て支援

子育て支援センターの
拡充を含めた対策は

町長 新たな子育て支援センターの新設も含め、機能の拡充に取り組む

外間議員 本町において、認可と認可外の保護者負担の格差縮小は必要だと思いが、所見を伺う。

仲間一町長 認可外保育施設に入園する乳幼児が、公立保育所に入所する乳幼児と等しく健やかに育つことができるとともに認可外保育施設の保育料が、保護者の経済的負担とならないよう給食材料費、教材費等を

町独自の事業として助成してきた。町では、平成27年度以降も認可外保育園の認可法人等の移行に取り組むこととしており、第3子以降の保育料については、公立保育所と同様の保育料となります。

外間議員 本町において、待機児童数の人数と子育て支援センターの拡充等を含めた対策について伺う。

町長 平成25年10月1日現在、待機児童数32人となっている。子育て支援センターの拡充等については、現在の

の子育て支援センターが利用者数の増加に伴い、親子交流事業や子育て講習会等の実施では狭隘であり、子育て支援の拡充・強化のため、新たな子育て支援センターの新設も含めセンター機能の拡充に取り組む。

外間議員 放課後児童健全育成事業の預かり時間を有効活用した学習指導など多

彩なプログラムの提供が必要と思うが所見を伺う。

町長 放課後児童健全育成事業は、厚生労働省が所管する遊びや生活の場を提供する事業となる。事業の実施内容や運営方法等については、教育委員会と連携し、子ども子育て支援会議の中で充実した事業になるよう取り組む。

教育、人材育成

自治体運営の塾等について本町の取り組みは

町長 中学校3年生を対象に受験生支援教室を実施している

外間議員 就学支援の需給児童数と、今後の対策について伺う。

町長 要保護、準用保護の就学奨励援助費を受給している児童生徒数は、平成

25年度で小学校が138人、中学校が75人となっております。

年々増加傾向にある。町では、教育の機会均等を図る事から就学奨励援助は必要であると考えている。

外間議員 近年、全国的な動きとして自治体運営の公営塾や就学援助児童支援専門のNPO等の塾が増加してきているが、本町の取り組みについて伺う。

町長 教育委員会では塾に通えない生徒も希望と自信をもって高校受験に臨めるように、毎年中学校3年生を対象に受験生支援教室を実施しており、夏休みには学力向上を図るため、各小・中学校においてサマースクールを実施している。地域においては、屋嘉区では小学生を対象に夏休み学習教室を実施し、並里区では中学3年生を対象に高校受験対策として金武町並里区塾を実施している。

観光、商工業の振興

スポーツツーリズムの誘致、態勢の整備が必要では

町長 町と教育委員会で連携を行い、組織体制の検討を行う。

外間議員 本町において、すばらしい競技施設が整備されてきているが、スポーツコンベンション及びスポーツツーリズムの誘致活動並びに受け入れ態勢の整備が必要と思うが、今後どのように推進していくのか。

町長 スポーツコンベンション等の誘致については、観光施設とスポーツ施設の有効活用を図るため、町と教育委員会で連携を行うとともに、当該業務を一体的に担う組織体制の検討を行う。



松田義政 議員

所信表明

政策推進上の考え方は

町長 計画、実行、評価、改善を繰り返し、より良い施策や事業を推進する

松田議員

町政運営の基本方針について、町長は6月定例会冒頭で向こう4年間の町政運営について8つの政策を掲げているが、その実施に向けて事業の難易度等を含め、自身の政策推進上の考え方を伺う。

仲間一町長

所信表明で掲げた8つの政策について、選挙公約で掲げていたものであり、その政策を推進す

るために、現在実施している各分野における施策や事業等を精査する必要があると考えている。政策を推進するにあたっては、計画、実行、評価、改善を繰り返しながらより良い施策や事業を推進する。また、事業の難易度等については、施策や事業によって時間的、財政的な状況等、難易度の違いが生じてくる場合があるので、その状況を分析して実行できるよう取り組む。

松田議員 金武町アイヌ文化交流事業について伺う。

町長

金武町アイヌ文化交流事業は、町教育委員会が主体となる金武町アイヌ文化交流実行委員会が公益社団法人アイヌ文化振興・研究推進機構の助成金と町の補助金で実施するものである。

松田議員

民泊体制強化事業について伺う。

町長

化事業については、沖縄県緊急雇用創出事業の活用により、町の滞在型観光の推進を目指し、民泊受け入れ民家の拡充を図るための人材として、3人の雇用と人材育成を委託により行うものとなっている。

松田議員

水道事業の集中管理システムに向けた実施設計について伺う。

町長

現在、町の水道施設の維持管理は各施設を巡回し、施設の稼働状況・配水池の水量等を確認している。そのため、離れた施設

松田議員

の状況把握、ポンプの故障、断水及び台風時のトラブル等の対応に時間を要する状況である。集中管理システムを導入することにより、中川から屋嘉までの各水道施設の情報が役場の中央監視装置で管理できる事から、平成26年度に実施設計を行うものである。

松田議員

の町民が安心して暮らせる健康・福祉のまちづくり」を掲げているが、現在多くの町民が宜野座村まで足を運び、自らの健康と親睦を深めパークゴルフに親しんでいる姿を見せているが、同様の施設を町内に整備する考えはないか。

町長

パークゴルフについては、子どもからお年寄りまで手軽にできるスポーツとして普及している。本町としても、今後、先進地を調査し、施設の整備に向けて検討する。

ギンバル訓練場跡地のクリニックの現状

開業が滞っている内容は

町長 ほとと会に県の指導が行われ、開設に向けた手続きが進まな

松田議員

昨年10月に完成したクリニックの開業が滞っているようだが、その内容

は。

町長

北部メディカルクリニックについては、当初4月の開院を目指していたが、医療法人ほとと会の業務及び会計の改善について県の指導が行われており、定款変更の届出ができないことから、開設に向けた手続きが進まず、現在開院していない。

仲間議員

このような状況は、協定書に照らし、再検証して次のステップも考えながら取り組んでもらいたいが。

町長

今後の展開においては、大きな決断も必要と思っている。協定書を再確認する中で、甲及び乙は信義を重んじ、この協定で取り決めた事項を誠実に履行するという文言がある。今、3ヵ月たって残念な結果になって残念な結果になっていく。

農林水産業の振興



吉野 潤 議員

六次産業の推進は

町長 生産者が単独、または共同で導入できるように支援する

吉野議員

新規就農者並びに後継者の育成支援について伺う。

仲間一町長

農業後継者及び新規就農者の育成・支援については、青年就農給付金事業を通じて就農直後の経済支援と農地の回転を進め、安定した就農環境の充実に努める。青年就農給付金の支給実績については、平成24年度に屋嘉区で1人、平成25年度に屋嘉区で5人、

並里区で3人、伊芸区でとなっており、本年度においても同数の支給を予定している。

吉野議員

六次産業の推進について伺う。

町長

農林水産業の六次産業化については、生産者の所得向上と地産地消を推進するため、生産、加工、販売する仕組みを生産者等が単独、または共同で導入できるように支援するとともに、道の駅と一体的な町特産品の直売所の整備を行い、その体制を構築する。

吉野議員

水産業の推進と後継者の育成について伺う。

町長

水産業の推進と後継者育成については、金武漁業協同組合と連携し、つくり育てる漁業や体験漁業などの観光漁業を進めるとともに、生産機具購入やパヤオ、漁船等の生産基盤の導入等の支援を行う。また、漁業者連絡協議会での研修

事業への支援や稚魚放流事業等も行う。

吉野議員

町に営農推進アドバイザーはいるが、漁協にはそういったアドバイザー的な人はいないので、町のほうで配置できないか。

森山朝男基地跡地推進課長

水産業に関するアドバイザーは、県のほうに普及員があり、その普及員が養殖関係の指導に来ていただいている状況がある。町単独のアドバイザーの設置については、すぐに設置できるというわけではなく、漁業者全体の意見を踏まえ、検討していかねければならないと考えている。

吉野議員

水産業普及員ですが、なかなか来てもらえないと、せめて月1回は来てもらいたい要望があるが。

町長

県の担当部署、アドバイザーと連携し、要望に応えられるように努めたい。

商工観光業の振興

町の特性を生かした観光振興の取り組みは

町長 観光資源実態調査を実施し、地域資源の発掘と活用を図る

吉野議員 道の駅構想について伺う。

町長 道の駅の整備については、農産物直売所等を含めた施設整備により、六次産業化の体制の構築、地産地消の推進、誘客効果の向上で農林水産業、商工業、観光業の振興に向け取り組む。

吉野議員 地域商店街の活性化に向けた取り組みについて伺う。

町長 地域商店街の活性化については、多言語による観光案内や町商工会との連携により、空き店舗対策や地域商品券の活用をはじめ、ギンバル訓練場跡地利

用に伴う地域内購買力を高め、地域活性化を図るものとなっている。

吉野議員

わが町の特性を生かした観光振興の取り組みについて伺う。

町長

本町の特性を活かした観光振興の取り組みについては、金武ダム湖面から億首川流域やネイチャーみらい館、ギンバル訓練場跡地一帯を拠点に、地域の特性を生かした観光の振興を図る。また、観光資源実態調査を実施して、地域資源の発掘と活用を図る。

吉野議員

商工会施設内にある6棟の宿泊施設の維持管理と活用状況について伺う。

町長

金武町研修施設については、金武町商工会へ指定管理による維持管理を行っている。平成25年度における利用人数は、延べ690人となっている。



伊 芸 孝 議員

所信表明

商工業・観光業の振興について、どうとらえているか

町 長
地域資源を活かした観光の推進による経済波及効果を高めることが重要

伊芸議員 所信表明の中で「金武町雇用対策事業検討委員会を立ち上げ」とあるが、具体的に内容を説明してもらいたい。

仲間一町長 金武町雇用対策事業検討委員会については、町民の雇用の拡大と人材育成に向けて雇用創出に関する調査、雇用促進のための技能、資格取得の調査、

計画策定、組織体制に関する調査を行う委員会として設置するものである。

伊芸議員 検討委員会は意欲ある人を公募し、討論を重ねてもらいたいと思うが。

町 長 4月に新しく3つの委員会を立ち上げる。當山記念館の活用、女性だけの委員会、雇用対策委員会についても幅広く中身を議論できる人たちをあてていきたい。

伊芸議員 商工業・観光業の振興について3項目の表明があるが、その骨格をどうとらえているか伺う。

町 長 商工業・観光業の振興については、地域内購買力の向上、農林水産物の六次産業化と地産地消による生産者の所得向上、地域資源を活かした観光業の推進により経済波及効果を高めることが重要と認識している。

伊芸議員 行政改革で「機構改革を実施する」とあるが、どのような内容か。

町 長 機構改革の内容については、多様化し増大する保健福祉業務を、保健予防と児童福祉等に分けることで効率の良い福祉業務が行えると考えている。また、並里・金武地区農業集落排水事業の完成間近に伴い、上下水道課の設置も検討している。7月以降に機構改革検討委員会を立ち上げ、それぞれ行政サービスの向上と事務の効率化を図るため機構改革に向けて取り組みものである。

町 長 県の都市計画法による開発許可待ち

ギンバル開発計画

ホテルの進捗状況は

町 長 県の都市計画法による開発許可待ち

伊芸議員 ホテル等の施設建設の進捗状況はどうなっ

町 長 ホテル建設に伴う開発許可については、森林法による保安林解除や林地開発の許可を得ている。現在、県の都市計画法による開発許可待ちである。

伊芸議員 ホテル等の施設建設について、開発許可がおりていないということか

宮里安秀企画課長 沖縄金武リゾートのほうから県のほうに手続きがされている。この開発の申請には、平成25年10月10日に出されてお

り、許可が出るまで半年ぐらいかかる。

伊芸議員 北部メディカルクリニックが開業しているが、何故なのか。

町 長 北部メディカルクリニックについては、当初4月の開院を目指していたが、医療法人ほくと会の業務及び会計の改善について

県の指導が行われており、定款変更の届け出がで

いことから開設に向けた手続きが進まず、現在開院していない。



北部メディカルクリニック

伊芸議員 補助金返還等の問題もあるので、おもいきって事業主体を変更するということは考えていないのか。

町 長 協定書に基づき、大きな決断をしなければならぬ時期に来ていると思っている。

六次産業化の推進



与儀 実 栄 議員

農林水産物の需要を

掘りおこすとは

町長 町内における需要の調査を行い、供給体制と六次産業化を進める。

与儀議員

一次産業に従事する方々（農家・漁家）の所得の安定と所得の向上を図る上から、六次産業化を強力に推進していく必要がある。今日まで構造改善事業、北部振興策等の補助事業や町独自の生産機具、堆肥の補助など手厚く育成されてきている。しかし、そこに田いも、果樹、ブナシ

メジといった作物を除いて

町の特産物というのが確立

されていない。新町長には

今一度、一次産業をしっかりと

分析し、町民の雇用の

創出と地産地消の推進、農

林水産物における産地化を

目指して、しっかり取り組

んでいただきたい。そこで、

担い手農家で、町の基本的

な構想で謳っている年間所

得を達成でいていいる農家数

は何農家か。

仲間一町長 町の「農業経

営基盤の強化の促進に関する

基本的な構想」に基づく

認定農業者は、平成25年度

末現在の19人と、本年度の

認定審査を通過する見込み

の7人を含めると26人となる。

そのうち所得目標の3

50万円と労働時間の20

00時間程度を達成している

認定業者は17人となっている。

与儀議員 今、達成しているのが17農家で、育成すべき農家はどのくらいあるか。認定農業者の中ですと、

安富祖勸産業振興課長

26人のうち17人ですので、

残り9人は達成していない

部分については指導してい

かなければいけないという

のがある。当然、認定農業

者以外でもその認定に向け

てステップアップしていた

だきたい農家もあるが、そ

れがどれだけというような

数値は持っていない。

農林水産物の需要を掘りお

与儀議員 こすとあるが、

具体的な方策はどのように

するのかが、

ギンバル訓練場跡地利用に

町長 伴う施設やホテル

をはじめとする町内におけ

る農林水産物や畜産物の食

材や花キ類等の需要の調査

を行い、これらの需要に備

えた供給体制と六次産業化

を進め、農林水産物の地産

地消を図るものとなっている。

六次産業の形態として、農

与儀議員 家独自に法人化

し、生産・加工・販売まで

する方法と、生産を農家に

任せ、二次加工、販売に企

業を入れる方法があると思

うが。

六次産業化については、生

産業振興課長 産者独自で

六次産業化を図る部分と町

の仕組みとして六次産業化

を図る部分があると考えて

いる。町としては、生産者

が加工して販売もしたいと

いうような仕組みを望む場

合があれば、指導や補助制

度の活用とか支援してい

たい。町の仕組みとしては、

道の駅の直販所だとか含め

た形で、両方考えていき

たい。

※ 六次産業

第一次産業は、農畜産

物、水産物の生産を行う

六次産業は、農畜産物、

水産物の生産だけでなく、

食品加工（第二次産業）、

流通、販売（第三次産業）

にも農業者が主体的、総

合的に関わり今まで第二

次・第三次産業の事業者

が得ていた付加価値を、

農業者自身が行うことに

より、農業を活性化させ

ようというもの。



伊 芸 政 男 議員

町長所信表明

屋嘉区民グラウンド整備は

長 屋嘉区と協議し取り

町 組む

伊芸議員 「教育・人材育

成について、英語によるコミュニケーションの能力向上を図るため、小学校、中学校を英語教育課程特例校の指定に向けた取り組みを推進してまいります。」と示しているが、町内各小学校、中学校の外国語活動の現状について伺う。

仲間一町長 現在町では、

外国人による英語指導助手を配置し、英語教育の充実

を図っている。幼稚園では遊びの中で英語に慣れ親しませ、小学校では総合的な学習の時間を活用し、低学年では遊びや音楽を取り入れた英語教育を行い、高学年では簡単な会話等の指導もしている。中学校では、通常の英語指導を行うとともに、英語検定対策等も実施している。

伊芸議員 特例校の指定を受けたらどのように変わるか。

町長 英語教育課程特例校については、沖縄県教育委員会を經由して文部科学省が指定する。指定された場合は、地域の特色を活かした特別の教育課程を編成して教育を実施することができ、児童生徒の英語力の向上が見込まれる。

伊芸議員 特例校の指定後、英検等の受験料に対する補助制度はどう考えているか。

伊芸議員 グラウンドの内

仲間光明学校教育課長

今、英語検定の補助については2分の1です。町の一般財源を使って学力向上推進委員会の中でその学校からこの受験生の申請に基づき2分の1の金額を負担しているという形をとっている。

伊芸議員 「屋嘉区民グラウンド改修整備に向け整備方針を策定するとともに、旧屋嘉区公民館跡地の有効活用について検討してまいります。」と示しているが、それぞれの整備方針の策定の時期について伺う。

町長 屋嘉区民グラウンド改修整備については、屋嘉区と協議し改修に向けて取り組む。また、旧屋嘉区公民館跡地については、屋嘉区と協議しながら有効活用について検討する。

伊芸議員

外が、雨水によってのり面が崩壊し赤土が流出している。照明器具等も老朽化しているので整備に向けた計画を早めに進めていただきたい。

新里朝治社会教育課長

屋嘉区民グラウンドに関して、先月屋嘉区に出向き、デコボコがあったり、のり面の崩壊等々があるということの現状を把握している。今後、屋嘉区と調整を図りながら、整備に向け取り組む。

交通安全対策

対策を早急にとるべきでは

町長 見通しを良くするなど交通事故防止のための対策を講じる

伊芸議員 国道329号線

沿いのファミリーマート付近から町道屋嘉60号線に通じる道路と町道屋嘉27号線の延長線上の交差点は交通量が多くなり、事故も起きている。その対策を早急にとるべきでは。

町長 国道329号線の渋滞を避けるため、ファミリーマート付近から町道屋嘉60号線を通り、屋嘉インターチェンジ方面に向かう車両が増加し、交通事故の危険性も高まっていることを認識している。特に町道屋嘉27号線の延長線上との交差点においては、交通事故が懸念されるので、停止線や一時停止を促す看板等を設置するとともに、交差点周辺の木々の伐採をし、見通しを良くするなど交通事故防止のための対策を講じる。

伊芸議員 停止線は一方の道路にあるが、両方の道路に設置できないか。

上原浩総務課長 水道工事が7月から8月にかけて完成するので、その後に舗装が終わり次第設置している。うと思っています。



嘉数義光 議員

町長所信表明

町長の考えは

町長 8つの政策を4年かけて実現していくことが使命

嘉数議員 町政運営の基本方針

嘉数議員 町政運営の基本方針の中の8つの政策について、これまで進めてきた政策との違い、新しく取り入れた事業について伺う。

仲間一町長 子育て支援について

仲間一町長 子育て支援については、子育て支援センターの拡充、認可外保育所の認可化と防音施設整備、すべての乳幼児・児童・生徒を対象に給食費の無料化。教育・人材育成については、小中学校における1クラス

25人から35人の少人数学級の編成及び英語教育課程特別校指定に向けた取り組み、

当山記念館の活用に関する検討委員会の設置。若者と町民の雇用創出については、

金武町雇用対策事業検討委員会の設置、金武町版ハローワークの設置。健康・福祉

については、すべての公共施設のバリアフリー化の推進、不妊治療に係る費用助

成。農林水産業の振興については、新たな農林水産物の需要の掘り起こし及び六

次産業化の推進。商工業・観光業の振興については、

道の駅と関連施設の整備検討、新たな観光資源の発掘。

行政改革については、機構改革の実施、女性による町

づくり提言委員会の設置、証明書自動交付機の設置な

どが新しく取り入れた事業です。

嘉数議員 今回の8つの政策、任期4年間で成し遂げ

たいという思いがありますので、町長の考えを伺いたい。

選挙戦で8つの政策を訴えながら戦ってきました。こ

の中、たくさんの人から激励もいただき、支援もいろいろな形で受けてきた。こ

の事を4年かけて実現したいと思っております。

町長 ていくことが、私の町づくりの使命だと思っております、すべてにおいて全力投球で、また、町民の声を聞きながら進めていきたいと思っ

4月6日の町長選挙

町民の融和どう進めるか

町長 謙虚に誠実に町政運営に取り組み

嘉数議員 将来の行く末を決める大きな選挙であります。政局が二分化され、

政治の混迷が続いています

が、町民の融和をどのように進めていく考えか伺う。

町長 町民の融和については、町民目線で目配り、

気配り、心配りができる行政をめざし、町民と共に考え、汗を流し、行動する

という信念を持ち謙虚に誠実に町政運営に取り組む。

- 8つの政策
- 1・子育て支援
認可外保育園の認可化
町立保育所の民営化
給食費の無料化 など
- 2・教育・人材育成
英語教育課程特別校の指定
金武町民俗資料館の建設
少人数学級編成 など
- 3・若者に雇用の場を
金武町版ハローワーク設置
金武町雇用対策事業検討
委員会を立ち上げ など
- 4・健康・福祉のまち
不妊治療に係る費用助成
介護予防事業、障害福祉
サービスの充実 など
- 5・農林水産業の振興
生産者の所得向上
新規就農者並びに農業後
継者の育成・支援 など
- 6・商工業・観光業の振興
道の駅と関連施設の整備
新たな観光資源の発掘
地域商店街の活性化 など
- 7・行政改革
証明書自動交付機の設置
機構改革を実施 など
- 8・基地問題
必要に応じて軍用地の返
還に係る機関へ働きかけ
など

平成26年 第2回 定例会

平成26年第2回定例会を、6月16日から6月27日までの日程で開催され、議案審議に先立ち、仲間一町長の所信表明が行われた。今定例会では、一般会計・国民健康保険・後期高齢者医療会計の補正予算のほか、条例改正や工事請負契約などの議案を審議し、それぞれ原案のとおり可決した。一般質問は、14人の議員が登壇した。

議決結果は下記のとおりとなっております。

平成26年第2回金武町議会定例会附議案件処理結果

件名	議決結果
平成26年度金武町一般会計補正予算(第1号)	原案可決 (全会一致)
金武町財政調整基金の処分について	原案可決 (全会一致)
平成26年度金武町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決 (全会一致)
平成26年度金武町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	原案可決 (全会一致)
負担付き寄附の受け入れについて	原案可決 (全会一致)
金武町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決 (全会一致)
平成26年度金武町水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決 (全会一致)
平成26年度金武町有線放送電話事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決 (全会一致)
金武町災害対策本部条例の一部を改正する条例について	原案可決 (全会一致)
工事請負契約締結について(金武町防災情報システム整備工事(第2期))	原案可決 (全会一致)
工事請負契約締結について(億首川周辺環境整備工事(1工区))	原案可決 (全会一致)
工事請負契約締結について(億首川周辺環境整備工事(2工区))	原案可決 (全会一致)
工事請負契約締結について(金武町ベースボールスタジアムナイター照明建設工事(1工区))	原案可決 (全会一致)
工事請負契約締結について(金武町ベースボールスタジアムナイター照明建設工事(2工区))	原案可決 (全会一致)
工事請負契約締結について(並里・金武(第二期)地区農業集落排水ポンプ施設整備工事)	原案可決 (全会一致)
工事請負契約締結について(並里・金武(第二期)地区農業集落排水事業管路工事(1工区))	原案可決 (全会一致)
工事請負契約締結について(並里・金武(第二期)地区農業集落排水事業管路工事(2工区))	原案可決 (全会一致)
物品の取得について(ぶなしめじ冷蔵車両購入)	原案可決 (全会一致)
物品の取得について(家畜排泄物有効利用事業(バキューム車購入))	原案可決 (全会一致)
専決処分の承認について(金武町税条例の一部を改正する条例)	承認 (全会一致)
専決処分の承認について(金武町国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	承認 (全会一致)
議員派遣に関する決議	可決 (全会一致)

平成26年 第3回 臨時会

平成26年第3回臨時会を、7月31日に開催した。
今臨時会は、中川小学校屋内運動場（体育館）の工事請負契約の2議案を審議した。
それぞれ原案のとおり可決した。

平成26年第3回金武町議会臨時会附議案件処理結果

件名	議決結果
工事請負契約締結について（中川小学校屋内運動場建設工事（建築））	原案可決 (全会一致)
工事請負契約締結について（中川小学校屋内運動場建設工事（電気設備））	原案可決 (全会一致)

町村議会正副議長・正副委員長研修会

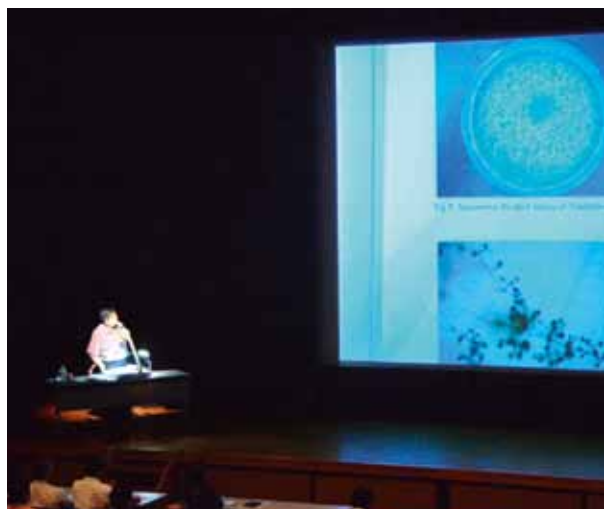
8月4日（月）に町村議会正副議長・正副委員長研修会が、北谷町のちやたんニライセンターで行われた。

沖縄県選挙管理委員会 選挙班長の与那嶺政直氏と主任の山城智一氏が、「最近の選挙制度をめぐる諸情勢等について・政治活動及び選挙運動について」をテーマに研修が行われた。

また、東京農業大学名誉教授の小泉武夫氏を講師に、「発行が人類を救う」をテーマに講演が行われた。



沖縄県選挙管理委員会による研修



東京農業大学名誉教授 小泉武夫氏による講和

議会広報調査特別委員会より

今号より、議員の顔写真を議会中のものにしたたり、発行月にあわせた色づかいにしたりと、誌面のリニューアルを行っております。今後も、親しみやすい広報誌を目指し、編集してまいります。

コロニア・オキナワ入植60周年記念式典

ボリビアのコロニア・オキナワにて、17日に慰霊祭と入植60周年を祝う記念式典が行われた。議会では、議長を含む6人の議員を派遣した。

式典に先立ち行われた慰霊祭にて、志半ばで亡くなられた先人たちへ祈りを奉げ、その後の式典・祝賀会にて入植60周年を祝い、ボリビアや周辺の国々から集まった金武町人の皆さんと交流した。



慰霊祭での焼香の様子



入植60周年記念式典

傍聴案内

議会を傍聴してみませんか。

9月定例会は、**9月9日(火)**開会を予定しております。

日程は変更になる場合があります。決まり次第、有線放送やホームページでお知らせいたします。詳細につきましては、議会事務局へお問い合わせください。



金武町議会事務局 有線放送 8-2292 NTT 098-968-2292 FAX 098-968-6274